

令和8年6月19日

三河歯科衛生専門学校
校長 丸山 健 殿

三河歯科衛生専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
委員長 新實 良美



令和7年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

記

1. 開催日時：令和8年5月24日（日）10：00～11：00

2. 場 所：三河歯科衛生専門学校

3. 参 加 者：10名

学校関係者評価委員

新實 良美	臨床実習指導者 蒲郡市民病院 歯科衛生士
楠本 裕枝	教育関係者 豊橋歯科衛生士専門学校 専任教員
安面 紀代子	卒業生 本山歯科医院名古屋本院 歯科衛生士
葛原 奈美	保護者
鳥越 奈美	保護者
小野田 愛	保護者
倉知 紀子	保護者

学校教員

丸山 健	校長 （挨拶のみ）
藤井 広美	教務主任 （趣旨説明・進行・アドバイザー）
遠山 麻希子	3年生担任（記録）

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（評価委員へは、自己点検評価報告書を事前に送付済）

5. 意見・改善点

1) 教育理念・目標

- ・適切である。
- ・入学時ガイダンス・保護者会などで、教育目標を理解してもらうための努力を継続していく必要がある。

2) 学校運営

- ・適切である。
- ・中長期計画会議・職員会議・学年会議が定期的に開催され、目標が明確に定められている。
- ・情報システム化については、夏季休暇中に Wi-Fi の整備を実施する。

3) 教育活動

- ・適切である。
- ・超高齢社会における歯科衛生士の役割として、患者を全人的に理解し、良質な医療サービスを提供できる人材の育成が不可欠である。そのためには、口腔ケアの実践が可能な実習先との連携を継続するとともに、さらなる充実と発展を図っていく必要がある。

4) 学修成果

- ・ほぼ適切である。
- ・国家試験合格率が 6 年連続で 100% であり、就職においても、就職を希望する学生の就職率は例年 100% を維持しており、今後も同様の実績の維持を目指す。
- ・令和 7 年度の退学率は 6.1% であり、近年上昇傾向にあるが、その要因として生活面・精神面に課題を抱える学生や自由度の高い教育環境で学んできた学生の増加が考えられる。学生の変化に早期に気付き、きめ細やかな指導を行うなど、退学者の低減に向けた取り組みを継続していく。

5) 学生支援

- ・適切である。
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングを月 2 回程度実施している。
- ・授業・実習・設備・学校生活全般に関する意見・要望を把握し、学校改善につなげるため、5 階学生ホールに「みんなの声」と称した目安箱を設置した。

6) 教育環境

- ・適切である。
- ・実践能力を向上させるため、臨床実習・臨地実習の指導者と更なる連携をとり、指導のスキル、方向性、内容の統一を図る必要がある。昨年度に引き続き、臨床実習指導者会議の実施を予定している。

7) 学生の受け入れ募集

- ・適切である。
- ・オープンキャンパスの参加者は増加傾向にあり、これを出願者の増加につなげていくことが重要である。また、在学生によるアプローチは有効であり、アンケート結果からも高い評価が得られており、募集活動への貢献度の高さが認められる。

8) 財務

- ・ほぼ適切である。
- ・安定した入学者の確保および退学者の防止に努め、極力支出を抑えるべき工夫・改善の継続が必要である。

9) 法令等の遵守

- ・適切である。
- ・専修学校設置基準や関係法令に従い、適正に運営している。

10) 社会貢献・地域貢献

- ・ほぼ適切である。
- ・姉妹校である愛知産業大学主催の大学祭で、ファミリー向けイベント「きらきらフェスタ」に参加し、地域の方々と交流、歯科衛生士の職業周知をする良い機会となった。（今年度も参加を予定）
- ・歯科医師会および歯科衛生士会主催の「社会福祉施設歯科健診及び交流会」を本校にて実施し、学生も参加した。本活動は、学生にとって実践的な学びの機会として有意義なものとなっている。（今年度も本校にて実施・参加予定）